

（1面から続く）
を運んだり、試着のお手伝いもしました。ドレスを発注する時には、自分も『業者』として話をさせてもらいました。

この仕事はお客さんとの打ち合わせが何よりも大切だそう、打ち合わせをする内容や話をするコツなども教えてもらいました。支配人とウエディングプランナーとの打ち合わせにも参加させてもらいました。どんな人がこの仕事に向いているのかというところ、「話をするのが好きな人」「気を遣える人」だそうです。担当の方に「どんな時にやりがいを感じますか」と尋ねたところ、「〇〇さんが担当で良かった」と言われるときです。どんな仕事でもそうですが、この仕事は思ったより地味なこともしなければならず、責任やプレッシャーは



ペールのアイロンがけを体験中の佐藤さん

とても大きいですが、だからこそやりがいを感じるのだと思います。人とのつながりや思いやりの心は、どの仕事にも大切だと思いました。

海老澤友さん
（大門中学校）職場体験先は市内の花店

私は二日間、花店に職場体験に行きました。一日目の午前中の主な仕事は花や台などを外に並べる、花を巻いている新聞紙をはずす、床と机を掃除する。午後は花の説明を書く、商品を箱に入れることでした。一日目の午前中は一日目の作業のほかに水やり、入荷した花の運搬、花の茎を折る、たたくななどの作業。午後は午前中の作業のほかに、たたいたり、折ったりした茎をお湯につける。キャップを洗うなどしました。



左から海老澤さん、岡本さん

私は二日間、花店に職場体験に行きました。一日目の午前中の主な仕事は花や台などを外に並べる、花を巻いている新聞紙をはずす、床と机を掃除する。午後は花の説明を書く、商品を箱に入れることでした。一日目の午前中は一日目の作業のほかに水やり、入荷した花の運搬、花の茎を折る、たたくななどの作業。午後は午前中の作業のほかに、たたいたり、折ったりした茎をお湯につける。キャップを洗うなどしました。

新しい発見もありました。茎の下処理の方法です。茎の太さや大きさ、状態によって切り口を折ったり、たたいたり、割ったり、焼いたり、いろいろな方法があるので。このひと手間で水上げを良くし、少しでも長持ちさせ、買ってくれた方に楽しんでもらえるように、という気持ちで伝わってきました。

私は二日間、花店に職場体験に行きました。一日目の午前中の主な仕事は花や台などを外に並べる、花を巻いている新聞紙をはずす、床と机を掃除する。午後は花の説明を書く、商品を箱に入れることでした。一日目の午前中は一日目の作業のほかに水やり、入荷した花の運搬、花の茎を折る、たたくななどの作業。午後は午前中の作業のほかに、たたいたり、折ったりした茎をお湯につける。キャップを洗うなどしました。

この体験を通して学んだことは、お客様を第一に考えることです。配達を頼まれた時はその時間を必ず守ることは基本で、信用を損なわないためにも大切だと思いました。また、「ふだん見えていない作業だけ」を決めておこなうというの、その仕事のほんの一部だからです。

各職場から寄せられた感想

●店としても初心に帰る良いきっかけとなった ●もう少し大きな声であいさつができるようになった ●生徒は言われたことを素直に聞く耳を持っており、言われなくても時間前に準備をしている姿勢には感心した ●商品が店舗に配達されるまでの一部の作業体験だったが、ふだん何気なく使っている物がたくさんあるの人の手を通して届けられていることを知ることができた ●今年で受け入れは4回目。三日間では伝えたいことの半分ぐらしか話せないが、こちらも楽しく仕事をさせてもらった ●自分に与えられた仕事が終わると『次に何をしますか?』と聞かれるなど、積極的だった ●職場体験の実施だけではなく、体験で得たことや注意されたことなどを今後の学校教育で生かしてほしい ●将来が楽しみ、というのが総合的な感想です ●制服や体操着を乱れなくきちんと着ていた ●事前に説明したとおりに準備をできていた ●本を読む機会が少ないようなので、もう少し増やしてほしい ●掲載以外の事業所等からの感想も紹介していきます



左から羽山さん、金野さん、鈴木さん

働くことを経験した上で、私は今、力を入れていきたいことがあります。それは、コミュニケーションや心配りを大切にすること、物事に積極的かつ丁寧に取り組むことです。その場、その場で何をすれば良いのかを良く考え、実行していきけるようになりたいので、今から始めなくてはならないことを探していきたいと思っています（海老澤友さんと岡本ひなのさんの二人で参加しました）。

金野純也さん
下里中学校 職場体験先は近隣の時計製造メーカー

私は主に時計を作っている会社に、職場体験に行きました。この会社は卓球にも力を入れていて、オリンピックに出場した社員もいたそうです。一日目。時計の説明を受けました。昔はゼンマイで動いていた時計もあったそうですが、驚きました。実際に時計も作らせてもらいましたが、ピンセットを使い、細かいパーツを取るのに苦労しました。職場の方が分かりやすく説明してくれました。何とか動く時計を作ることができました。この作業をしてみても、時計というものはとても精密なものだということが分かりました。二日目。前日に作った時計の部品工場に行きました。

私は主に時計を作っている会社に、職場体験に行きました。この会社は卓球にも力を入れていて、オリンピックに出場した社員もいたそうです。一日目。時計の説明を受けました。昔はゼンマイで動いていた時計もあったそうですが、驚きました。実際に時計も作らせてもらいましたが、ピンセットを使い、細かいパーツを取るのに苦労しました。職場の方が分かりやすく説明してくれました。何とか動く時計を作ることができました。この作業をしてみても、時計というものはとても精密なものだということが分かりました。二日目。前日に作った時計の部品工場に行きました。

工場内には人がまったくいないので、代わりに機械が作業していました。小さな部品の一つ一つをきちんと測っていたので、すごいと思いました。三日目。物流サービスセンターに行きました。ここでは伝票どおりに品物を取ってきて、それを検品しました。伝票には店の名前が書いてあり、この時計がその店に並ぶのかと思うこの作業が一番楽しく、検品作業にも力が入りました。次に、発送の梱包作業であるダンボールにボールを巻く作業をしました。ボールを巻く作業をしました。最後にラッピングの作業をしました。これが一番難しかったです。でも、職場の方たちは簡単そうに作業をしていました。

私は主に時計を作っている会社に、職場体験に行きました。この会社は卓球にも力を入れていて、オリンピックに出場した社員もいたそうです。一日目。時計の説明を受けました。昔はゼンマイで動いていた時計もあったそうですが、驚きました。実際に時計も作らせてもらいましたが、ピンセットを使い、細かいパーツを取るのに苦労しました。職場の方が分かりやすく説明してくれました。何とか動く時計を作ることができました。この作業をしてみても、時計というものはとても精密なものだということが分かりました。二日目。前日に作った時計の部品工場に行きました。

私は主に時計を作っている会社に、職場体験に行きました。この会社は卓球にも力を入れていて、オリンピックに出場した社員もいたそうです。一日目。時計の説明を受けました。昔はゼンマイで動いていた時計もあったそうですが、驚きました。実際に時計も作らせてもらいましたが、ピンセットを使い、細かいパーツを取るのに苦労しました。職場の方が分かりやすく説明してくれました。何とか動く時計を作ることができました。この作業をしてみても、時計というものはとても精密なものだということが分かりました。二日目。前日に作った時計の部品工場に行きました。

静かで心地よい空間。本が好きな私は、図書館で職場体験をしました。体験前には、図書館の仕事という方々との本との貸出と返却、本の整理ぐらしか想像できませんでしたが、実際には本の予約の管理や新しい本の登録、古くなった図書の見学、季節に合わせた飾り作りなど、予想以上に仕事があり驚きました。市内の図書館ならば別の図書館でも本の予約ができますが、それはできて当たり前ではなく、その裏では、図書館で働く方が細



右が甲斐さん、中央下が前田さん

「何のために勉強するの?」という中学生の素朴な疑問に対して、私は、「社会人として自立するため」と答えます。そして、自立している身近な人でモデルとなるのは、地域で働く大人たちです。また、社会には多種多様な仕事があり、生徒たちが知っているのはごく一部です。それらすべての仕事が必要なものであり、社会に貢献しています。中学生の多くは、やがて自分や家族の生活を維持するために仕事に就きます。それならば、誰でも自分の適性に合った、やりがいのある仕事を選びたいと考えているはずですが、そのためには、中学時代によく学び、さまざまな体験をすることによって、自分の可能性を広げることが不可欠です。ぜひこの貴重な職場体験で、仕事の厳しさや魅力を理解し、自分の世界を広げてください。 市立中学校校長会会長 渡邊 宏一（久留米中学校長）

この三日間を通して感じたことは、コミュニケーションがとても大切だということ。そして、職場の方々を見て、早く働きたいなと思いました（金野純也さん、羽山堅嶺さん、鈴木龍司さんの3人で参加しました）。

静かで心地よい空間。本が好きな私は、図書館で職場体験をしました。体験前には、図書館の仕事という方々との本との貸出と返却、本の整理ぐらしか想像できませんでしたが、実際には本の予約の管理や新しい本の登録、古くなった図書の見学、季節に合わせた飾り作りなど、予想以上に仕事があり驚きました。市内の図書館ならば別の図書館でも本の予約ができますが、それはできて当たり前ではなく、その裏では、図書館で働く方が細

静かで心地よい空間。本が好きな私は、図書館で職場体験をしました。体験前には、図書館の仕事という方々との本との貸出と返却、本の整理ぐらしか想像できませんでしたが、実際には本の予約の管理や新しい本の登録、古くなった図書の見学、季節に合わせた飾り作りなど、予想以上に仕事があり驚きました。市内の図書館ならば別の図書館でも本の予約ができますが、それはできて当たり前ではなく、その裏では、図書館で働く方が細

実践していることに着目し、各学校から男女一人ずつ（二人以内）が推薦され、教育委員会の生徒表彰審査会を経て決定されています。表彰基準は、(1)学芸にたゆまず取り組み、その成果を發揮して学校の文化的水準を高めることに顕著な功績があった、(2)学校の諸行事において顕著な活動を行い、学校生活の充実と発展に貢献した、(3)生徒会活動や部活動、ボランティア活動等において顕著な活動を行い、学校生活の充実と向上に貢献した、(4)その他、他の生徒の模範となる活動を行い、教育長が表彰することが適当と認める成果または行為があった、生徒などです。詳しくは総務課庶務係 470-7775へ。

本市の特別支援学級については、「第4次長期総合計画」の基本計画の中に、今後5年間に取り組むべき予定計画事業として盛り込まれており、市教育委員会ではこれを受け、小学校については「特別支援教育の環境整備計画（小学校）」を策定し、平成25年度の開設を目前に現在計画を進めています。中学校についても新たに特別支援学級を開設することが求められており、現在の在籍生徒数や通級指導学級への通級状況を考慮すると、早期に環境整備計画を策定することが必要となっていました。このたび、「特別支援教育の環境整備計画（中学校）」がまとまりましたので、お知らせします。【現状】固定学級は、東中学校（9組）と中央中学校（7組）に知的障害学級を開設。在籍生徒数は東中学校が2学級で15人（1年生10人、2年生3人、3年生2人）、中央中学校が3学級で22人（1年生6人、2年生4人、3年生12人）となっています。学区域では東部地域が東中学校、中部・西部地域が中央中学校となっています。通級指導学級は東中学校の情緒障害学級（けやき学級）のみ

「特別支援教育の環境整備計画（中学校）」を策定しました！

で、3人（2年生2人、3年生1人）の生徒が在籍しています。 ※生徒数はいずれも平成24年5月1日現在 【検討結果】中学校の特別支援学級については、新たに固定学級及び通級指導学級を開設することになりました。◎固定学級…西中学校に知的障害学級を2学級開設▽整備内容は特別支援教室2教室（間仕切り設置）、職員室、家庭科室、便所 ◎通級指導学級…久留米中学校に難聴学級を1学級開設▽整備内容は特別支援教室1教室（難聴学級）、職員室、相談室、多目的スペース、便所 なお、固定学級・通級指導学級ともに、平成24年度中に設計委託、25年度に改修工事、26年度の開設を目前に計画を推進していきます。また、通級指導学級（自閉症・情緒障害学級）については、平成25年度開設の小学校の在籍状況を見て、学校や保護者等と調整しながら検討を行います。 また、本計画に明記されていない事項や東京都特別支援教育推進計画の第三次実施計画で示された内容については、その都度検討を行っていきます。 詳しくは学務課学事係 470-7779へ。